

一般 産業振興について問う

西下 敦基 (市民ネット)



日本経済の先行きは見直しが難しく、変化のスピードが上がり、不確実性が高くなる。永続的に発展し、魅力ある菊川市であるようお願い質問した。

◎ 平成30年4月に施行された「菊川市中小企業及び小規模企業振興条例」での新しい取り組み及び影響は。

◎ 経営基盤の強化や人材の育成及び確保において、中小企業等が行う生産性向上の設備投資への固定資産税の特例措置を実施。高校生・大学生を対象とした企業見学バスツアーの開催や市内企業19社の情報をまとめた市内企業紹介情報誌を発行。経営基盤の強化に一定の効果があつたと考えるが、一方で人材確保対策についての課題が見えている。

◎ 今後策定される「菊川市中小企業及び小規模企業振興推進プラン」について、期間を設定してP D C Aを回す必要は。実効性向上にむけて市民・企業・行政・金融等からの組織よっての評価や提

案を受けるような協議体はあるのか。

◎ 市の施策事業は第2次総合計画で進捗管理を行い、プランについては必要に応じ見直しを行う。協議体は設置していないが、地域経済活性化推進会議や商工会、創業支援担当者会議等において意見等いただいている。

◎ 就職氷河期世代の把握及び就労支援は。

◎ 本市の支援対象者数は把握していない。今後、国から具体的な取り組みが示されるので、国・県と連携し適切に取り組んでいく。

他に「明るい選挙」、「人生会議の取り組み」について質問しました。

菊川市中小企業及び小規模企業振興基本条例



中小企業・小規模企業をみんなで応援します！

一般 静岡県総合防災訓練の共催地

水野 貞幸 (みどり21)



「東海地震」「南海トラフ巨大地震」に備え、静岡県総合防災訓練が菊川市を共催地として、8月30日(日)に行われる。市には相当な負担だが、市民の防災意識の向上や関心度を高める絶好のチャンス。みんなの被害軽減を願って質問する。

◎ 訓練想定、テーマ、重点などの概要と計画は。

◎ 震度7を想定。自助は自分と家族の命を守る、共助は児童生徒の参画した、多文化共生の避難所運営、公助は運動公園で自衛隊・県警と救出・救助、平川地区でモデル避難所、アエルで物資配送訓練等を行う。今年度の重点事業で、多くの人の参加が必要。

◎ 各訓練場所の視察・見学は。

◎ 各会場での訓練内容を情報共有することは必要で、地区等から要望があれば調整・案内する。例年、小規模であるが視察している。

◎ 訓練内容を映像で資料保存し、自主防で活用を。

◎ 記録担当者を配置して写真・動画を集約し、自主防災会に情報提供し、活用していきたい。

◎ 盛夏対策は考えているか。

◎ 暑さの中での訓練となる。飲料水を携帯して訓練に参加、体調管理の注意喚起を徹底したい。熱中症対策は、日陰づくり、給水、噴霧等を用意して安全な訓練実施に取り組んでいく。

他に「ICTの有効活用の実現」について質問しました。



▲防災訓練のようす

※令和2年度静岡県・御前崎市・菊川市総合防災訓練は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け中止となりました。なお、例年開催している総合防災訓練(8月30日予定)については現在検討中です。